

**奥多摩の教育**

第232号  
発行  
奥多摩町教育委員会

**第64次南極地域観測隊に  
同行しましたので御報告します**

(期間 令和4年11月10日出港、  
令和5年3月22日帰国)

『やってみよう』という思いをかたちに

教育に関わる仕事を始めて17年になります。この仕事をやるにあたって、大切にしている思いがあります。それは、自分自身が「常に挑戦し続ける人であること」です。私は少し心配性な性格なのですが、そんな自分を知っているからこそ、とりあえず『やってみよう』という思いで行動し、日々自分を奮い立たせるようになっています。南極教員派遣プログラムへの参加は、「無理かもしれない。」「諦めの気持ちがあったのも事実です。でも、「あのとき、やってあげば。」「と後悔はしたくなかったので、行動に移してみることにしました。できる限り本を読んでみたり、なるべく南極に関する研修会に参加したりと、時間を見付けてできることをやりました。挑戦を始めて、約4年。同行決定の連絡が来たときは、うれしくて仕方ありませんでした。

南極での活動は、感動の連続でした。現地では、ありがたいことに多くの野外活動での観測に参加させてもらうことができました。壮大な

令和5年6月1日現在	児童数	143名
	生徒数	64名
	教職員数	44名

大陸の雄大さを存分に味わうことができませんでした。そして何よりも、あらゆる活動に同行させてもらったことで、この地で観測や研究、設営などの仕事を行う皆さんの思いを間近に感じることができました。また、その姿はとても魅力的でした。

南極からの授業は、ただ南極での出来事を発信するのではなく、リアルタイムでのやりとりを大切にしたいと思っていました。そこで奥多摩の三つの学校にお願いをして、事前授業を通して、子どもたちの『やってみよう』という思いをたくさん聞くことにしました。子どもたちの好奇心と観測隊員の『やってみよう』という挑戦する心を繋いだ授業にするため、打ち合わせを重ねました。

当日は、運営スタッフや出演者など、毎回20名以上の方に協力いただき実施しました。南極での夏作業はスケジュール調整の連続です。昭和基地の維持や生活の成立のため、全員での作業を進めつつ、各々の研究や観測等を行なっています。いくら予定を立てても、天候が崩れ

氷河を堪能できる場所、複雑な形状の岩石から自然がもつエネルギーを感じる露岩域、愛らしいペンギンが子育てをするルッカリーなど、南極

ば、またやり直します。それぞれの目標にしているゴールがある中で、うまく進まないもどかしさもあったように思います。そんな中、観測隊の皆さんは、夜遅くになっても南極授業の打ち合わせに顔を出してくれたり、準備を手伝ってくれたりしました。「奥多摩の子どもたちと関わってうれしかった。」「また日本でも奥多摩と一緒に授業がしたい。」「温かく前向きな言葉をかけてくれました。本当に幸せな時間だったなと感じています。

この挑戦の中で、大変なこともありましたが、仕事をしながらの勉強や準備は時間に追われ、不安に襲われ、挫けそうにもなったこともありましたが、でも頑張った先にあった南極の景色はとても素晴らしく、出会った仲間がかけがえない宝物になりました。

私の大好きな奥多摩は、子どもを大切に思う町です。また一人ひとりに与えられる挑戦の機会が数多くある場所だとも、長年働いていて思います。「本が好き」「運動が好き」「生き物が好き」など、自信をもって好きといえるものを奥多摩町で、学校で見付けて、『これ、やってみようかな。』という一歩を踏み出してみてほしいと思います。私も南極での経験後、新たな挑戦を心に決めていきます。「奥多摩の教育」をきっかけにそれぞれの世界が広がっていいなと思っています。

指導主事 野田豊



南極の氷を採取



奥多摩の児童・生徒に向けて手を振る観測隊



南極の太陽とわさびー



南極地域観測隊の仲間たち

## 令和5年度奥多摩町教育委員会の教育目標・基本方針

奥多摩町教育委員会では、憲法、教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、その他の教育関係諸法令並びに東京都教育委員会の方針等に基づき、町の現状と課題を踏まえて、教育目標と方針を定めています。

本年度、最初の発行にあたり、皆様に改めてお知らせするとともに、子どもたちにとって将来を見据えたより良い教育環境の実現のために教育行政を推進してまいります。

### 【教育目標】

互いの人格を尊重し、心身ともに健康で、かつ、知性、感性、道徳心に富んだ豊かな人間性を身に付け、広く国際的分野と社会に貢献しようとする意識をもった町民の育成に努める。

自ら学び、自ら考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向け、学校教育、社会教育を充実し、生涯にわたって学習の場が得られるよう教育行政を推進する。

町の基本構想を指針とし、長期的展望に立って教育・文化・体育等の諸施策の充実に努め、町民憲章に定める目標の実現を目指す。

### 基本方針

奥多摩町教育委員会は「教育目標」を達成するために、以下の基本方針に基づき、教育施策を推進する。(各方針の説明については抜粋してあります。)

#### 基本方針 1

「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

子どもたちが、自尊感情をもち、全ての命を大切にし、人を思いやり、社会の決まりを身に付けて健やかに成長できるように、郷土を愛し、自立した個人を育てる教育を行う。

#### 基本方針 2

「確かな学力の定着」と「個性や創造力の伸長」の推進

確かな学力の定着と、個性と創造力を伸ばす教育を実践することにより、グローバル化社会、情報化社会に対応することができる子どもを育成する教育を推進する。

#### 基本方針 3

「総合的な教育力」と「生涯学習」の充実

家庭・学校・地域の教育力を高め、その連携の推進を支援するとともに、町民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加する機会の充実を図る。

#### 基本方針 4

「町民の教育参加」と「学校経営の改善」の推進

地域の特性を踏まえた広域的な視点に立つ教育行政を進めるとともに、町民に信頼される魅力ある学校づくり、開かれた学校づくりを目指した学校経営を支援する。

#### 基本方針 5

「伝統文化の保存」と「郷土愛育成」の推進

郷土を知り、郷土を愛する心を育成し、町の発展に寄与しうる町民を育てる。

### 【学校教育の指導目標】

◎…令和5年度重点目標

～通いたい、通い続けたい、通わせたい学校へ～

#### 確かな学力

- ◎1 個に応じた指導の徹底
- 2 主体的・対話的で深い学びの推進
- 3 外国語教育の推進
- ◎4 ICT機器を活用した協働的な授業づくり
- 5 保・小・中の一貫性のある指導(つなぎ・つなぐ)の強化
- 6 家庭学習の充実
- 7 読書活動の推進

#### 豊かな心

- 1 自他を大切にする心の育成
- 2 自尊感情・自己肯定感の向上
- ◎3 いじめ・不登校の未然防止、組織的な対応

#### 健やかな体

- ◎1 心と体の健康の促進
- 2 適切な食習慣、運動習慣の定着化

# 令和5年度 教職員の人事異動がありました

令和5年4月1日現在

学校名	転出者			転入者等		
	担当	氏名	新任校等	担当	氏名	前任校等
古里小	理科	野田 豊	町教育委員会(指導主事昇任)	1年生担任	土屋 真悟	立川市立第十小学校
	音楽・家庭	根岸 真紀子	日の出町立大久野小学校	音楽・家庭	神田 有香奈	足立区立皿沼小学校
氷川小	4年生担任	岡部 奨	東村山市立東萩山小学校	3年生担任	篠 純子	青梅市立霞台小学校
	6年生担任	千代 有彩	品川区立伊藤学園	6年生担任	小島 みなみ	小平市立小平第七小学校
	特別支援教室	松本 隆弘	青梅市立第二小学校	養護	志摩明日香	産休代替
奥多摩中	校長	西村 元一	青梅市立第三中学校	校長	原 善哉	昭島市立清泉中学校(校長昇任)
	数学	亀田 孝徳	日野市立大坂上中学校	数学	相澤 昌孝	八王子市立第二中学校
	国語	菅原 沙也花	国分寺市立第二中学校	国語	太田 明依	新規採用
	特別支援教室	馬道 優音	練馬区立大泉西中学校	特別支援教室	辻 愛	都立村山特別支援学級
奥多摩町教育委員会	指導主事	安部 峰	青梅市立第一中学校(副校長昇任)	指導主事	野田 豊	奥多摩町立古里小学校(昇任)

## 奥多摩中学校に着任して



奥多摩中学校  
校長  
原 善哉

校長の原善哉です。平成8年に初任校の御蔵島中学校から小河内中学校に着任し5年間勤めました。教科は技術を担当し、部活はバドミントンを生徒やOBに教えてもらいながら取り組みました。当時の氷川中には練習試合などでも大変お世話になりました。住まいも氷川の教員住宅。氷川小のジャンブルジムや三本杉の神社で、幼かった我が子をたくさん遊ばせていただいたことを、まるで昨日のことのように思い出します。思い出深いこの奥多摩町で勤務できることに、幸せを感じ意欲満々です。物事の一長一短は表裏一体です。奥多摩中には奥多摩中ならではの強みがあります。生徒の主體的な活動やICTは抜群です。生徒一人ひとりを大切に「全員支援教育」で職員と共に全力を尽くす所存です。どうぞよろしく願っています。

## 新たな気持ちで



町教育委員会  
指導主事  
野田 豊

奥多摩町立古里小学校に勤めて8年が経ち、今年度からは奥多摩町教育委員会の指導主事として仕事ができることになりました。赴任して2か月。多くの方に支えられ、励まされながら、新しい日々を過ごしています。学校現場を離れて仕事をすることに寂しさもありますが、古里小学校だけでなく、氷川小学校、奥多摩中学校のことも考えながら仕事ができる喜びを感じ、奥多摩町の教育の充実に向けて力を尽くしていきたいと思っています。また長年、お世話になってこの奥多摩町での経験を生かし、「自分だからできる」仕事のスタイルで各学校と一緒に取り組んでいけることを考えていきたいと思っています。改めまして、どうぞよろしく願っています。

新たに着任された先生方より

奥多摩の魅力を感じながら

古里小学校

土屋 真悟

立川市立第十小学校から赴任いたしました、土屋真悟と申します。

子どもたちや保護者の皆様、地域の方々との新しい出会いを楽しみにして来ました。

毎朝、古里駅を降りて、おいしい空気を吸い、鳥の鳴き声を耳にする度に、奥多摩のよさを実感しています。学校でも、教室の窓からなだらかな山頂をもった山の光景が見えます。それらの美しい大自然の中で子どもたちと関わることで嬉しき限りです。

今後も、奥多摩の魅力を更に見付けながら、奥多摩だからこそできる教育を探していきます。一生懸命頑張ります。よろしくお願いたします。

奥多摩の皆様、初めまして

古里小学校

神田 有香奈

初めまして。足立区立血沼小学校から来ました音楽専科の神田有香奈と申します。奥多摩ではあちこちから小鳥たちの大合唱が聴こえてきて幸せです。空気も澄んでいて朝からとても爽やかな気分になります。山を

眺めながら歌える環境の素晴らしさにも感激です。初めて出会った「のらぼう菜」が食べやすく、おいしかったです。

これからの奥多摩での発見や出会いにワクワクしています。

学校では、とても素直で優しい子どもたちとの出会いに心が温かくなりました。どうぞよろしくお願いたします。

自然の中で明るく逞しく

氷川小学校

小島 みなみ

「ここも東京都の学校。いつか自然溢れるこの地で、子どもたちとすごしてみたいなあ。」奥多摩町を訪れるたびに淡い思いを抱いていました。念願叶い、子どもたちと学べることに心を躍らせ、過ごしています。

「朝、猿がいたよね。」

（川を見下ろしながら）

「あれは、ヤマメかな……。」

子どもたちにとっては、日常の会話や環境も、他の地域では、味わうことも、触れ合うこともできない自然の恵みです。

子どもたちが町の魅力に改めて気付き、誇りに思えること、自然の中で明るく逞しく学びを深められることを大切に、子どもたちと日々を楽しみ、向き合っています。どうぞ、よろしくお願いたします。

5年振りの奥多摩

氷川小学校

篠 純子

この4月より青梅市立霞台小学校から異動し、5年振りに奥多摩町立氷川小学校に帰ってきました。大好きな奥多摩に戻ることができて、とてもうれいです。

保護者の皆様に「おかえりなさい。」と温かい言葉をたくさん掛けていただき、本当にうれしいです。改めて奥多摩の良さを実感しています。

豊かな自然、かわいい子どもたち、温かい保護者の方々、協力的な地域の方々に触れ、改めて頑張ろうという気持ち湧いてきます。皆様と共に協力して教育活動を行っていきます。温かい御支援・御協力をどうぞよろしくお願いたします。

はじめまして、奥多摩

氷川小学校

志摩 明日香

4月から氷川小学校に産休代替の養護教諭として参りました。小さいころからの夢が現実となり、保健の先生として子どもたちの豊かな成長に携わることができとても幸せに感じています。

奥多摩で始まる新生活に期待と不安を抱えていましたが、校舎から見た壮大な山々と満開の桜に、心の底から来てよかったと思えました。町の先輩養護教諭や頼もしい

先生方、心温かい奥多摩の人々と豊かな自然に囲まれて学びの多い日々を送っています。ほっと安心でき笑顔になれる保健室を目指していますが、子どもたちの一生懸命な姿に私の方がいつも力をもらっています。まだまだ駆け出しの身ではありませんがいつか振り返った時、この選択が正解となるよう精進していきますのでどうぞよろしくお願ひします。

**新たな出会いに感謝して**

奥多摩中学校 相澤昌孝

はじめまして、八王子市立第二中学校から異動してきました相澤昌孝と申します。新しい生活に慣れず、生徒に助けてもらった場面がたくさんあります。その中で、優しく声を掛けてくれたり、教えてくれたりする生徒が多く、安心して生活することができています。

担当教科は数学です。分かりやすい説明を心掛け、一人でも多く数学の楽しさや、達成感を感じてもらえるように授業を進めていきます。

奥多摩中学校の生活に早く慣れて、良き伝統を引き継ぎ、奥多摩の魅力を引き出せるように努力していきます。どうぞよろしくお願ひします。

**緑あふれる奥多摩町で**

奥多摩中学校 辻愛

都立村山特別支援学校から異動して参りました、辻愛と申します。

7年前、初任者として赴任した奥多摩中学校で再び勤められることに大変感謝しております。山々に囲まれた学び舎と広大な校庭を見たとき、まるで地元に戻ってきたような安心感を覚えました。職場では、先輩の先生方と再会を果たし、新たな出会いもたくさんありました。お世話になった保護者の方々や卒業生に再会することもでき、異動初日から心温まる日々を過ごしております。

奥多摩中学校の心優しい生徒たちが少しでも有意義な学校生活を送れるよう、特別支援教室担当として日々尽力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

**夢の教員生活**

奥多摩中学校 太田明依

新規採用の太田明依と申します。昨年度までは海に囲まれた青森県で生活していたので、山に囲まれた日常生活は初めてです。慣れない毎日が続いています。子どもたちや先生方、奥多摩に住む皆様に支えていただいているおかげで、充実した教員生活を過ごすことができています。

**図書館より新しい本の紹介**

**一般書**

長年の夢だった「教員になること」を奥多摩町という素敵な自治体で叶えられたことを幸運に思います。慢心せず、自分を鼓舞し続けられるように、さまざまなことに積極的に取り組んでいきたいです。まだまだ一人前にはほど遠い私ではありますが、一杯職務に取り組んでいきます。これからよろしくお願ひいたします。

**街とその不確かな壁**

村上春樹著 新潮社

**焼け野の雉**

梶よう子著 朝日新聞出版

**ペニー・レイン(東京バンドワゴン)**

小路幸也著 集英社

**結んでつくる ロープ持ち手50**

エクスナレッジ

**ちよこつとから楽しむはじめての梅仕事**

榎本美沙著 山と溪谷社

**児童書**

**あまがえるのたんじょう**

たてのひろし作 世界文化社

**はなとりかえっこ**

角野栄子作 偕成社

**キャンピングカーのたび**

みねおみつ著 福音館書店

【奥多摩町教育委員構成表】

職名	氏名	任期
教育長	野崎喜久美	自 R 4.10.1 至 R 7.9.30
教育長 職務代理者	原島 幹典	自 R 3.10.1 至 R 7.9.30
委員	榎戸 詠子	自 R 2.10.1 至 R 6.9.30
委員	小峰 一郎	自 R 4.10.7 至 R 8.10.6
委員	武本 正明	自 R 5.3.3 至 R 5.9.30

また、教育長職務代理者には、原島幹典氏が就任されました。

教育長職務代理者の石田充法氏の逝去に伴い、後任として武本正明氏（小丹波）が、3月の定例町議会において町議会の同意を得て、3月3日付で教育委員に就任されました。なお任期については、石田充法氏の残任期間である令和5年9月30日までとなります。



教育委員  
たけもと まさあき  
武本 正明氏

新教育委員に武本正明氏  
新教育長職務代理者には  
原島幹典氏が就任されました

教育委員会の動き

(令和4年11月〜令和5年4月)

- ◎11月定例会（11月24日）
  - ・議案第19号―令和5年度奥多摩町教育委員会の教育目標・基本方針について他協議事項7件
- ◎12月定例会（12月23日）
  - ・議案第27号―専決処分承認を求めることについて（令和4年度児童の教育課程について（届））
- ◎1月定例会（1月17日）
  - ・議案第1号―指定校変更申請の承認について
- ◎2月臨時会（2月6日）
  - ・議案第2号―教育委員の辞職の同意について他協議事項3件
- ◎2月定例会（2月27日）
  - ・議案第6号―町立学校の職員及び学校給食センター職員の職務に専念する義務の免除に関する事務取扱規則の一部を改正する規則
- ◎3月定例会（3月30日）
  - ・議案第7号―奥多摩町スポーツ賞表彰候補者の審査について他2議案
- ◎4月定例会（4月26日）
  - ・議案第10号―専決処分の承認を求めることについて（奥多摩町立学校学校運営協議会委員の委嘱について）

✿教育相談室より✿

お気軽にご相談ください

相談員 原島 富子

教育相談室では、新年度を迎え3名の相談員と、笑顔でやさしくお話を聞いてくれる2名のスクールソーシャルワーカー、計5名で、お子様の育て方などの保護者の方のお悩みや児童生徒の皆様自身の相談をお受けしています。またご自宅にお伺いすることもしています。どうぞお気軽にご相談ください。

さて、コロナウイルスに翻弄された3年間でしたが、これから児童生徒の皆様にはたくさん体験を通して友達と仲良く元気に学校生活を送っていただきたいと思えます。そして、子どもたちの健やかな育ちを学校、地域の皆様、保護者の皆様とともに見守っていききたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

\*教育相談室のご案内\*

【場所】奥多摩町福祉会館2階  
【開室日】月〜金曜日  
午前9時〜午後4時

お休み土・日・祝日・年末年始

【相談の形】

○来室相談○電話・メール相談

※来室相談は、電話、FAX、メール等で予約をお願いします。

【相談例】

- ・学校生活や日常生活でのお子様への心配（学校に行けない、登校渋り、友達と上手く遊べない、困った癖があるなど）
- ・お子様の発達に関するご相談（言葉の理解や発達が遅いように感じる、勉強に意欲が出ない、学力のことが心配など）

【その他できること】

- ・福祉手当やサービス、相談機関、医療機関などのご紹介
- ・お子様への指導・支援など

【E・FAX】(83)・2340

【メール】  
okusoudan@town.okutama.tokyo.jp

# 令和4年度奥多摩町学校給食センターの運営と決算報告

令和4年度は、年間給食回数、小学校189回・中学校195回を実施し、総食数は50,632食（小学校35,793食、中学校14,839食）を提供しました。前年と比較すると2,887食減少しました。

栄養面では、全体にバランスのとれた内容になるよう献立を工夫し、旬の素材を使用した、できるだけ手作りの給食を提供するように努力しております。また、調理後短時間で提供できるように努め、衛生面には特に注意を払っております。

給食費については、小学校は月額、低学年（1・2年生）4,100円、中学年（3・4年生）4,400円、高学年（5・6年生）4,700円、中学校は月額5,600円として運営しました。保護者の皆様からいただいた給食費は全て食材料費として使われ、1食当たりの食材料費は約280円となりました。食材料費以外の人件費、光熱水費等については、全て町で負担しております。

また、収支については、歳入歳出差し引き不足額が生じるため、翌年度歳入充用金で歳入不足を補填しております。

なお町では、子ども・子育て支援推進事業の一環として、給食費の全額助成を行っており、保護者の皆様には一旦納入をお願いいたしますが、後から助成が行われております。

## 令和4年度奥多摩町学校給食センター会計収支決算書

自令和 4年4月 1日  
至令和 5年3月31日  
(単位:円)

### 収入の部

科	目	予 算 額	収入済額	比較増△減	説 明
1	給食費	15,192,000	14,932,258	△ 259,742	
	1 児童給食費	7,068,000	7,113,020	45,020	古里小 4,450,300 氷川小 2,662,720 過年度分 0
	2 生徒給食費	3,511,000	3,466,400	△ 44,600	奥多摩中 3,466,400 過年度分 0
	3 職員給食費等	4,613,000	4,352,838	△ 260,162	古里小 1,337,478 氷川小 1,079,360 奥多摩中 1,300,160 センター 633,280 試食等 2,560
2	繰越金	220,152	220,152	0	
	1 繰越金	220,152	220,152	0	前年度繰越金 220,152
3	雑収入他	848	10	△ 838	
	1 雑収入	848	10	△ 838	預金利息
4	繰上充用金	0	80,012	80,012	
	1 繰上充用金	0	80,012	80,012	歳入歳出差し引き不足額 80,012円 翌年度歳入充用金で歳入不足を補填
合	計	15,413,000	15,232,432	△ 180,568	

### 支出の部

科	目	予 算 額	収入済額	比較増△減	説 明
1	主食費	1,950,000	1,912,544	△ 37,456	
	1 パン類費	1,104,000	1,161,187	57,187	古里小学校138回、氷川小学校135回、中学校138回
	2 麺類費	249,000	212,669	△ 36,331	古里小学校18回、氷川小学校18回、中学校18回
	3 米穀費	597,000	538,688	△ 58,312	古里小学校33回、氷川小学校34回、中学校39回
2	副食費	10,520,000	10,338,440	△ 181,560	
	1 副食費	10,520,000	10,338,440	△ 181,560	古里小学校189回、氷川小学校187回、中学校195回
3	牛乳費	2,867,000	2,976,748	109,748	
	1 牛乳費	2,867,000	2,976,748	109,748	古里小学校189回、氷川小学校187回、中学校195回
4	返還金	30,000	4,700	△ 25,300	
	1 返還金	30,000	4,700	△ 25,300	
5	手数料	3,000	0	△ 3,000	
6	予備費	43,000	0	△ 43,000	
合	計	15,413,000	15,232,432	△ 180,568	

収支差引残金

0円

**奥多摩町の学校給食を覗いてみませんか？**  
**【給食ブログの御紹介】**  
**奥多摩町学校給食センター**

奥多摩町では、古里小学校・氷川小学校・奥多摩中学校の給食を、学校給食センターで調理し、配送しています。

調理は手作りを基本として、カレーやコロッケ、ハンバーグなどを一から調理し、和食の日には、さば節を使用してだし汁をとっています。

学校給食では、旬の食材や行事食、地場産物などを献立に取り入れ、それらの大切さを子どもたちに伝えるようにしています。

給食センターでは、公式ブログにて学校給食の様子をお伝えしています。給食の写真を掲載したり、献立についてのポイントなどを紹介したりしています。

御家庭で給食について話題にしていたとき、学校給食に興味をもっていただけならと思います。左側のQRコードから、ブログに移動することができますので是非御覧下さい。(QRコードが読み取れない方は、URLからアクセスしてください。)

給食センター栄養士 谷口菜々実



**給食ブログQRコード**  
<https://www.rico.jp/kyushoku/>

人気メニュー  
カレーライス



桃の節句の献立



調理の様子



**社会教育団体の御紹介**

奥多摩町体育協会は、昭和39年発足以来59年に渡り、町民の体力向上と健康増進、住民相互の親睦を図ることを目的として活動しています。体育協会には、野球部、トレッキング部、卓球部、ソフトボール部、柔道部、剣道部、ゲートボール部、グラウンドゴルフ部、カヌー部と9部あり、年間を通じて練習や大会を行い活動しています。興味がある種目がありましたらぜひ見学に来てください。また、小学生を対象にジュニア育成地域推進事業として、野球、バレーボール、スキー、バトミントン、卓球、サッカー、カヌー、剣道教室を行っています。学校を通じてチラシを配布しますので、皆さん奮って御参加ください。



みんなでラジオ体操



ひな人形展

文化団体連盟は、平成3年発足以来32年に渡って町内各種文化団体相互の連携強化を図り、住民の教養を深め文化生活に資することを目的として活動しています。連盟では年間を通じて次のような活動を行っており、ですので、関心のある方は教育委員会まで連絡をお願いします。

- 5月31日(水)〜6月18日(日) せせらぎの里美術館展示会
- 10月19日(木)〜11月4日(土) 文化芸術展
- 11月5日(日) 文化芸術展
- 12月5日(火)〜24日(日) せせらぎの里美術館展示会
- 令和6年2月10日(土) 3月3日(日) ひな人形展
- 2月25日(日) ひな展コンサート